

瓊林49~100号 敬弔者・合掌者

「瓊林」による訃報は、未だSNSのない頃、会員諸兄の消息を知るに貴重な連絡箋であった。

本表は、「瓊林」49~100号の「敬弔者数」並びに「合掌」欄を総括した一覧表である。

各誌の「敬弔」欄では、延べ58頁にわたり、物故者2,903名の「氏名(卒回)」「逝去年月日」を掲示している。「合掌」欄の記事は延べ325頁248名の黒枠遺影付きの「追悼記事」が同僚・関係縁者により執筆されている。表の右辺には物故者の姓名を一覧表示した。

本誌の「合掌」欄で、特筆すべきは、公的な弔辞も含めて、追悼文の多くが青春期の故人を偲ぶ墓碑銘であること。いかにも同窓会誌らしく畏友の面影と懐古に満たされて、世俗的な仏側の俗世情報、故人の命日・戒名・宗旨・菩提寺などの記述は少ない。「随想」欄を凌ぐ名文も多い。故人は遺された人々の心でこれから2度目の生を得る。敬弔記事は同窓誌の本性的な使命である。

※追悼記事に文例を探るのは不謹慎の誹りを免れないかも知れぬ。それを承知で、夫々に様相の異なる下記5例を掲げてみた。ひたすらに「瓊林」同窓誌の面影を感得したいからである。

★瓊林49~100号・追悼記事ベスト5

Best	誌号	掲載頁	記事表題（敬弔される方々）	執筆者	記事内容～推薦理由
1	No57	P138	伊藤久秋、伊東勇太郎両先生を偲んで	長田俊雄(27)	北九州支部長・月星商事社長による格調高い追悼文、
2	No68	P46	幻の筆者!?!珍竹林氏逝く!!	幸竹助三(27)	瓊林誌連載 28回 14年の「崎二七会」翁の人間記録
3	No72	P76	まなうらに住む人びと（塚原仁）	平尾みさお	師匠を夫圭太氏と共に偲ぶ盲目の夫人、島原新聞載
4	No92	P64	前瓊林会長永田敬生氏への弔辞	土井貞包(会長)	(S49/6~H6/6)20年間の3大業績を伝え、敬慕する。
5	No99	P78	ある遺言(松尾久賀氏)	前原重敏(G1)	逝去者ご本人の(言置き・略歴・俳歴)を紹介する



瓊林49~100号 敬弔者数・「合掌」記事故人名一覽

号数	刊行年月	敬弔者		合掌者		合掌欄で追悼記事が書かれた故人の氏名(*は母校教授)
		頁数	人数	頁数	人数	
N049	1976(S51)/12	1	68		0	
N050	1977(S52)/5	0	40	3	2	小森良天・土橋保夫
N051	1977(S52)/12	1	36		1	道津幸太
N052	1978(S53)/5	1	29		1	大月辰松
N053	1978(S53)/12	1	47		0	
N054	1979(S54)/5	1	82	3	3	津上定・大久保昭二郎・吉原某
N055	1979(S54)/12	1	41	5	4	川畑明彦・小畑栄広・安河内末男・松本日出男
N056	1980(S55)/5	1	4	3	3	横山清松・村山京・今村有
N057	1980(S55)/12	1	48	4	5	太田主馬・落合勝郎・今村文雄・伊藤久秋・伊東勇太郎
N058	1981(S56)/5	1	41	3	3	伊藤久秋・太田武・森田幸治
N059	1981(S56)/12	1	44	2	2	筒井憲二・諸隈正学・
N060	1982(S57)/5	1	50	2	1	山根熊蔵
N061	1982(S57)/12	2	93	2	1	伏見義夫
N062	1983(S58)/5	1	68	5	2	山田憲太郎・富高洋巳
N063	1983(S58)/12	1	64	7	4	野崎祐蔵・磯田裕・前島智忠・松井希三郎
N064	1984(S59)/5	1	47	2	1	庄野久直
N065	1984(S59)/12	2	144	10	5	秋山昌弓・山下幸好・永富光男・岡西利夫・川崎敏雄
N066	1985(S60)/5	1	50	8	5	金子三郎・大楠成一・鶴田泰造・下釜直人・渡辺文太郎
N067	1985(S60)/12	1	58	7	5	石村軍紀・山口実・間世田正名・川本兼実・珍竹林(本田松男)
N068	1986(S61)/5	1	77	8	4	脇山勘助・高月等・珍竹林(本多松男)・岩佐進午
N069	1986(S61)/12	1	64	14	8	西脇儀兵衛・土肥三郎・古賀一海・渡辺勝之・深尾峰雄・木嶋隆輔・谷弥一郎・林九思
N070	1987(S62)/5	1	37	11	7	湊川孟弼・榎本正雄・栗田源蔵・早嶋保雄・釜田英二・島尾敏雄・島添博央
N071	1987(S62)/12	2	138	13	7	引田稔・三瀬清次郎・樋口茂雄・桑原正夫・岩永岩男・原昇・霜津正三
N072	1988(S63)/5	1	61	15	7	塚原仁・原田龍平・河野久義・池田信治・浜岡収・鮫島正勝・吉田利雄
N073	1988(S63)/12	1	66	6	7	山本一男・浅尾浩平・横田稔・牛島慶次・古川憲二・西田俊文・於保一男
N074	1989(H1)/5	1	45	6	6	信原猛夫・宮川栄三・荒木春雄・浜田寿一・鮫島正勝・金子正
N075	1989(H1)/12	1	51	6	4	辻一三・寺崎勇夫・飛永重寿・山田勝次
N076	1990(H2)/5	1	53	6	6	河野吉男・草野吉浩・米村禮三・秦野平七・瓜生一夫・植村正一
N077	1990(H2)/12	2	110	8	7	後藤武士・長田俊雄・新谷幹生・中村幾郎・瀧昌浩・坂本修・田崎勇吉
N078	1991(H3)/5	1	39	4	4	岡本秀雄・山本隆道・平山紀之・田代三郎
N079	1991(H3)/12	1	55	11	10	西原秀夫・鶴省三・武光威夫・北島昇一・上野純則・小林厚・西本富男・泉浩二・野口武夫・川口広
N080	1992(H4)/5	1	53	5	4	大久保良一・中村一夫・小松重春・下村圭介
N081	1992(H4)/12	1	50	9	6	田中正男・永島忠夫・田原秀樹・山口三津男・下村圭介・横山辰彦
N082	1993(H5)/4	1	46	5	5	安藤寛・小松崎旻・神崎熊蔵・吉良勇・諸岡甫
N083	1993(H5)/12	2	51	12	10	廣野敬吾・史兆徳・新田武人・坂本栄五郎・森原英夫・山口正敏・石原学・沖津秀人・小畑忠彦・大石健二
N084	1994(H6)/4	1	49	11	10	松野賢吾・山内淳・鬼塚辰次・武田勝・田並茂巳・川本淳・大神三千男・和田慎治・平隆夫・平山一成
N085	1994(H6)/12	1	60	11	10	寺田武義・世戸口信義・塩沢武・徳永武行・浅枝幸雄・守屋尾男・松枝義信・伊東八郎・松本利明・勝山博
N087	1995(H7)/12	1	64	9	8	重藤威夫・富士本啓示・中西作平・土屋直正・津村孝司・山崎光彦・根岸昭英・志岐操六
N088	1996(H8)/5	1	43	6	4	津山秀雄・谷口日出丸・村上明・森岡巖
N089	1996(H8)/12	1	46	4	3	平野英二・立石卓郎・吉田康介
N090	1997(H9)/5	1	32	4	2	中山典登・野津至位
N091	1997(H9)/12	1	53	7	6	広瀬繁喜・園田泰男・中村健次・畑瀬正也・宮崎俊介・高木良夫
N092	1998(H10)/5	1	41	7	4	竹田銃太郎・藤田源次郎・橋本睦夫・永田敬生
N093	1998(H10)/12	2	72	7	5	市原五美・本村寿一郎・杉本忠正・畑田禮・田口讓二
N094	1999(H11)/5	1	59	7	5	松本清光・豊福雪朗・鶴谷栄一・郡島伸一・寺田満治
N095	1999(H11)/12	2	62	13	10	志津田氏治・福地文吾・寺井正・増本敏彦・松本理国・石橋泰・溝口功・後藤鉄也・福元敏夫・永田吉次朗
N096	2000(H12)/5	1	45	6	5	森田雄三郎・木下義雄・岩井鶴次郎・後藤昭・貞方雅彦
N097	2000(H12)/12	2	66	12	9	八尋正隆・三角鐵人・藤井敏郎・岩永一男・大黒輝文・安田理雄・服部聡・三坂侃治・貞方雅彦
N098	2001(H13)/5	1	60	7	5	澤野正男・緒方克己・長井健介・頼田志郎・細川豊
N099	2001(H13)/12	1	70	6	7	山下隆栄・河野博・堀信夫・町田儀晴・松尾久賀・井手満州男・岡村任教
N0100	2002(H14)/5	1	31	3	5	諸谷義武・木島昇・黒崎勝・山岡宝・末吉成年
件数(人員)合計		58	2903	325	248	

敬弔
左記の諸氏の御逝去に対し深く哀悼の意を表します。

一八〇 山本外一 不詳
一一一 山口常太郎 平成二、九一八
一一四 大森正一 平成二、一〇、三〇
一一五 浦壁辰次 平成二、一、二六
一六 寺田義一 平成二、八、二六
一八 天野義一 平成二、一、二八
一八 木野義一 平成二、一、二八
一八 市原文治郎 平成二、二、一八

二二 白武一 平成二
二二 三宅丈市 平成二
二二 中島武雄 平成二
二二 弓削(宮山)理助 平成二
二二 渋谷賢一 平成二
二二 諸山正 平成二
二二 林(今村)生寛 平成二
二二 木下覚 平成二
二二 富崎善郎 平成二
二二 西原資朗 平成二
二二 森川繁己 平成二
二二 田崎稔 平成二
二二 宮地(籍方)信雄 平成二
二二 井手博 平成二

☆本表は「瓊林」49~100号が収載した敬弔者/合掌欄の頁数と人数を示す。合掌者氏名の朱記は母校教授、青記は瓊林会関係者を示す。